

オカワカメ

市川茂子

慈雨となり天の恵みの陽となりて穏おだしくあれと空を眺める

あれこれと思わずらうも詮無しと目の前のこと片づけはじめ

朝ごとに蔓の伸びいしオカワカメ物干し竿に絡みつくる

暑き陽を浴びて伸びくるオカワカメ君だけ元気と声に出し言う

早朝につみ取る庭のオカワカメ肉厚き葉は今日の一品

水引の茎より細き火花草ピンクの花粒かすかに撓しなう

暑き陽にうすみどり葉の火花草風にゆれつつあえかに咲けり

紅色の紫陽花は目に新しき花冠にかすか白の色差す

かつての日いただきし蘭の空鉢に白ゆりの花咲かせ見ており

口内炎を友に告げれば須臾しゆゆにしてチョコラBB買って持ち来る